

主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

メッセージ 2

生ける水の源泉

聖書：エレミヤ 2:13. 詩 36:8-9. ヨハネ 4:14. 7:37. 啓 22:17

I. 「まことに、わたしの民は二つの悪事を犯したからである。彼らはわたし、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ」——エレミヤ2:13：

- A. 聖書における、特に新約における原則とは、神がご自身をわたしたちに開き、それによってわたしたちが彼の中へと入り、彼を受け入れ、彼と一となるということです。そのとき彼はわたしたちの中におられ、わたしたちは彼の中におり、彼をすべてとします——詩 91:1. ヨハネ 1:14. 14:6, 20。
- B. 神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となつて、彼の選びの民を満たし、彼らに享受させることです——エレミヤ 2:13：
1. 神はわたしたちが彼を生ける水の源泉、すなわち、わたしたちの生活の唯一の源とすることを欲しています——ローマ 11:36：
 - a. 神は彼の選ばれ贖われた民にご自身以外に何も源としてほしくないのです——I コリント 8:6。
 - b. わたしたちは神をわたしたちの源として彼と一となり、何であれ彼から生じるものを受け取るべきです——ローマ 11:36。
 2. 神のエコノミーにおける神の目標は、内側で神の命と性質を持ち、外側で神のかたちと姿を持つ一群の人を得ることです。この一群の民は、団体の実体、すなわち、キリストのからだであり、彼と一であり、彼を生きて彼の団体の表現となります——創 1:26. エペソ 1:10. 3:9. 4:16。
 3. 神が生ける水の源泉であることにおける目標は、神の増し加わりとしての召会を生み出し、彼の豊満とならせて、彼を表現することです。これが神のエコノミーにおける神の心の願い、大いなる喜びです——1:5, 9, 22-23。
 - a. 神はご自身の選民にとって生ける水の源泉となる必要があります。なぜなら、彼にはエコノミーがあり、彼のエコノミーはご自身のために配偶者、花嫁を生み出すことであるからです——ヨハネ 3:29 前半. 4:14. 啓 19:7-8。
 - b. 神の定められた御旨は、神が生ける水の源泉となつて彼の選民に飲ませることを願っているということであり、彼が増し加わり、拡大することです——エレミヤ 2:13。
 - c. 神のエコノミーはご自身を生ける水として分与して彼の増し加わり、彼の拡大を生み出して、彼を表現することです——コロサイ 2:19。
 - d. わたしたちが神を生ける水の源泉として飲むことは、彼の増し加わりとしての召会のためです。わたしたちが飲むことは、彼の拡大、彼の豊満を生

み出して、彼を表現するためです——ヨハネ 4:14. 3:29 前半. I コリント 12:12-13。

e. 生ける水の源泉以外に何もわたしたちの渇きをいやし、わたしたちを満足させるものはありません。わたしたちの存在の中へと分与される神以外に何も、わたしたちを彼の表現のための彼の増し加わりとすることができるものはありません——啓 22:1, 17。

4. 神の願いは彼の選びの民にとってすべてとなることです。それは彼らがあらゆることのために神に信頼し、神に依り頼むためです。彼らはこのことを行なうなら、祝福を受けます——エレミヤ 17:7-8。

5. 神を生ける水の源泉とする唯一の方法は、彼を飲むことです。彼を飲むことによってわたしたちは生ける水の源泉としての神から生じる生ける水をわたしたちの中へと取り入れます——ヨハネ 4:14. 7:37. エレミヤ 2:13。

C. 神の意図は、ご自身を人の満足として人の中へと分与し、神が拡大されることです。しかし、人は不忠実で不貞となり、偶像のために神を捨てました。神以外のすべての源は偶像です—— 2:13 :

1. 神の目に最も邪悪なことは、生ける水の源、源泉としての神を捨てることです—— 13 節。

2. イスラエルは生ける水の源泉としての神を捨て、神以外の源に向きを変えました。この源は水ためによって表徴されています。

3. エレミヤ第 2 章 13 節における「水ため」という言葉は、生ける水の源泉としての神に置き換わるものを作り出していることにおけるイスラエルの労苦を描写する比喩です。

D. 罪とは、神を捨てて、自分でまた自分のために何かを行なうことです。これはまさにイスラエルの子たちが行なったことです—— 13 節 :

1. 彼らは自分たちの供給のための生ける水の源泉としての神を捨てました。

2. 彼らは自分たちの意見にしたがって、できる限りの事を行なって、自分たちの享受のために自分で何かを成し遂げました。

II. 「あなたと共に、命の源泉があり」——詩36:9前半 :

A. 主の回復は、わたしたちにとって命である三一の神を回復することです—— I ヨハネ 1:1-2。

B. 神聖な命は、神の第一の基本的な属性と考えることができます——エペソ 4:18. ヨハネ 5:26. I ヨハネ 5:11-12. ローマ 8:2 :

1. 神の命の神性で永遠の性質によれば、神の命は唯一の命です。神の命だけが命として勘定されることができます——ヨハネ 1:4. 10:10 後半. 11:25. 14:6。

2. 命は神の内容であり、神から流れ出たものです。神の内容は神の存在であり、神が流れ出るとは彼ご自身が命としてわたしたちに分け与えられることです——エペソ 4:18. 啓 22:1。

3. 命はキリストです。また命はキリストがわたしたちの中で生きて、わたしたちから生かし出されることです——ヨハネ 14:6. コロサイ 3:4. ガラテヤ 2:20。

ピリピ 1:21 前半。

4. 命は聖霊です — ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2. II コリント 3:6.
 5. 命は、わたしたちの中へと分与されまたわたしたちの中で生きている三一の神です——ローマ 8:10, 6, 11.
- C. 神が願っているのは、わたしたちが彼をわたしたちの命と存在の源として取ることです。神はあらゆる面で唯一の源です——詩 36:9 前半. 参照、マタイ 15:13.
- D. 三一の神は手順を得て究極的に完成されました。それは、彼ご自身をわたしたちの三部分から成る存在の中へと分与するためです——ヨハネ 7:37-39. ローマ 8:11 :
1. 神のエコノミーは、彼ご自身をわたしたちの存在の中へと分与して、わたしたちの存在が彼の存在で構成されることができるようです。これは、神がご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと入れることによるのみ、成し遂げられることができます——2, 6, 10-11 節。
 2. 神はご自身を命としてわたしたちの中へと分与することによって、神のエコノミーを成し遂げつつあります。それは、神がご自身の団体の表現を持って永遠に至るためです——啓 21:9-10. 22:1.
- E. わたしたちは生ける水の源泉としての神から飲む必要があります。それは、神が彼のエコノミーの成就のために増し加わって、彼の配偶者を通して彼の表現を持つためです——エレミヤ 2:13. I コリント 12:13 :
1. わたしたちが生ける水の源泉である神から飲むとき、神はわたしたちと一になり、わたしたちは神と一になります——詩 36:8-9.
 2. わたしたちが神から飲めば飲むほど、ますます神はわたしたちと一になり、ますますわたしたちは神と一になり、神の命と性質において神で構成されます——ヨハネ 3:15. II ペテロ 1:4.